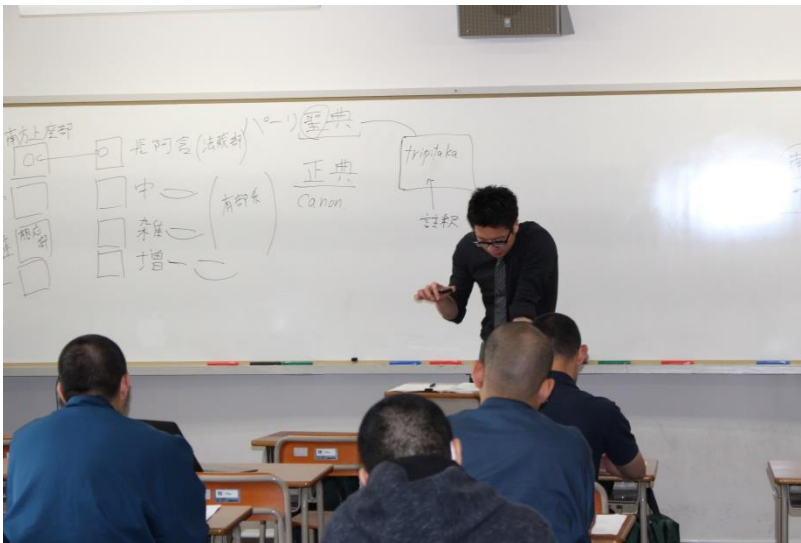




身延山大学国際日蓮学研究所

平成30年度第1回研究例会開催報告 ＜学術交流＞

身延山大学国際日蓮学研究所では、「身延山大学国際日蓮学研究所 研究例会」を毎年開催している。今回はその第1回として、5月31日（木）10時20分より身延山大学207教室において大阪大学の名和隆乾先生（文学部教務補佐員）を講師に迎え「パーリ聖典における縁起説の文献学的研究」と題し、講演頂いた。



今回は本研究所所員以外に学生の受講も許可されたことにより、名和先生は冒頭部分で経典研究における研究史をわかりやすく講義された。そこからパーリ経典における縁起説とは何なのか、またパーリ経典の語句における複数単数の異なりを詳細に解説された。これにより学生にとっても貴重な時間となり、大変有意義な例会となった。

パワーポイントや資料を使用し、わかりやすく講義する名和隆乾先生

また研究例会の前日には、名和先生の本研究所における研究計画や諸事務に関する説明などが午後6時より「M&H」において行われた。

この場において望月海慧研究所長・木村中一研究所主任より、機関誌『日蓮学』にも研究の一端を公開してほしいと要請された。

（研究所説明会参加者）

名和隆乾

望月海慧（身延山大学国際日蓮学研究所長）

浜島典彦（身延山大学学長・国際日蓮学研究所所員）

池上要靖（身延山大学副学長・国際日蓮学研究所所員）

三輪是法（身延山大学国際日蓮学研究所所員）

木村中一（身延山大学国際日蓮学研究所主任）

（記録：木村中一）